

NAGASAKI YOUNG



1992年2月8日 社団法人 長崎青年協会会報 第152号

GENERATION ASSOCIATION

社団  
法人

長崎青年協会



■本年度スローガン

歴史に学んで未来を語り  
築き上げよう 長崎の明日

社団法人

長崎青年協会憲章

我々は会員の團結と  
相互扶助の精神の基に  
自己の建設と  
会員の親睦を図り  
もつて地域社会の発展に  
寄与する事を目的とする

2

発行／長崎市魚の町7-7  
(社)長崎青年協会  
会長 刘 浩才  
編集／広報委員長 中村 善人

創立／昭和44年3月1日 社団法人設立／昭和59年3月23日

NAGASAKI YOUNG GENERATION ASSOCIATION

# 臨時総会開かれる

日 時：1月21日（火）  
場 所：ホテルニュー長崎



## ◇会長あいさつ

あけまして、おめでとうございます。

1月も半ばを過ぎ、正月気分もぬけ、平常の生活に戻られたと思います。

さて、昨年は、湾岸戦争に始まり、またソ連邦の崩壊と激動の1年がありました。この長崎におきましても、一昨年来よりの雲仙普賢岳の噴火災害、また台風19号による被害など暗い1年でしたが、今年こそは、普賢岳の方も鎮静化してほしいものであります。3月には、西彼の方に、オランダ村ハウステンボスがオープンされる予定ですが、長崎の方へも波及効果があるものと期待しております。

本年度も余すところ、2ヶ月余りとなりました。2月には、海外研修も控えております。この企画は、私達青年協会が、これまで行なってきました留学生を対象とした国際化に目を向けての活動以上に意義のあるものとして、皆様方のご協力のもとに、多くの成果をおさめていきたいと思います。

## ◇臨時総会

平成4年度、臨時総会が議長に椋尾敏郎君、議事録作成人に荒内賢治君、議事録署名人に小坂初比郎君、円能寺隆君がそれぞれ選任され、審議へと移りました。

第1号議案、平成4年度役員及び理事承認の件、満場一致で承認されました。

## ☆次年度の役員及び 理事者が以下の通 り承認されました。 (敬称略)



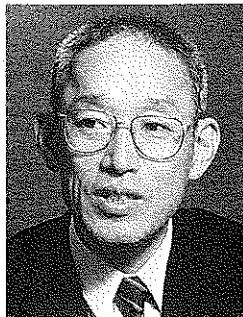
●会長	船越正治
●直前会長	劉清才
●副会長	田裕博
●監事	森芳保
●事務局長	大平和彦
	桑田啓伍
	岡崎彦哉
	岩崎直孝
	渡辺秀孝

●例会委員会	一井上章好
●広報委員会	城谷和富
●総務委員会	江新憲
●国際委員会	中進
●会員開発委員会	猿渡和志
●会員交流委員会	松貞
●企画委員会	松廣
●事業委員会	平山英則
●特別事業委員会	岩克弥
●地域事業委員会	田俊幸
●地域社会委員会	嵩恭一

# 2月例会案内

日 時：2月21日 午後6後半  
場 所：ホテルニュー長崎

今回は婦人同伴例会となっております。本年度最後の講師講演となりますので会員の皆様、出席を宜しくお願い致します。



講 師：君原 健二（メキシコ五輪銀メダリスト）

テーマ：「私のマラソン人生と学んだこと」

## プロフィール

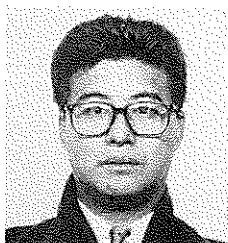
昭和16年3月20日（福岡県生まれ）

戸畠中央高校卒業後、新日本製鉄に入社、昭和37年第16回朝日マラソンでデビュー、当時の日本最高記録を破る2時間18分1秒8のタイムで3位入賞。以来、東京、メキシコ、ミュンヘン五輪へ参加。

## ☆新入会員紹介コーナー☆

会員開発委員長 井上 章

氏名 田中 潤介



生年月日 S31. 4. 26

住所 長崎市万屋町2-5

勤務先 長崎ビルサービス(株)

電話 ⑧ 26-0012

⑨ 26-0012

氏名 石田 則広

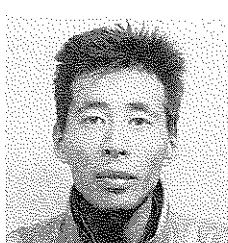
生年月日 S40. 9. 2

住所 長崎市浜町3-11

勤務先 (有)石田スポーツ店

電話 ⑧ 44-8988

⑨ 24-2493



氏名 木下 拓也

生年月日 S42. 1. 7

住所 長崎市大浜町722-7

勤務先 長崎県交通観光(株)

電話 ⑧ 21-2121

⑨ 65-0179

## ネットワーク 市民の会だより

長崎でいろんな形で活動されている市民団体が、長崎の為に大きな力（ネットワーク）をもって、少しでも良くして行きたいと願い、発足された「長崎ネットワーク市民の会」も、1年がたちました。

昨年は、初年度という事もあり、まずは活発な意見交換の出来る会合を重んじ、各団体の事業計画報告を軸に、相互理解を深めました。

そして今年度のまとめとして、ネットワーク市民の会の主旨を初めに、各団体の活動目的や活動状況をしるした、冊子「NET WORK」を発行する事となりました。この発行をきっかけに、各団体の相互理解をより深められ、さらに長崎へ提言できるネットワーク市民の会へと希望をふくらませております。

少々時間はかかるかもしれません、将来たのしみな会ですのでみなさんも大いに期待し又、積極的な活動をお願いしたいと思います。

企画調整室長 桑田 啓伍



# 大好き長崎なるほどセミナー

1月26日 自治会館

## ◇修了セミナー開かれる◇

1月26日(日)大好き長崎なるほどセミナーの最後として修了セミナーが自治会館にて行なわれました。今回は、討論会形式によって、テーマを3つに決め、(①長崎港埋め立てについて、②文化財保存について、③長崎に永住したいか)子供達の考え方を発表してもらいました。最終発表の結果は①、長崎港は公害の防止、自然保護の為にも埋め立てない方がよい。

- ② 文化財は、歴史的にも重要で観光客の為にも残すべきである。
- ③、長崎には、80%の子供が今後共ずっと住みたいと考えています。

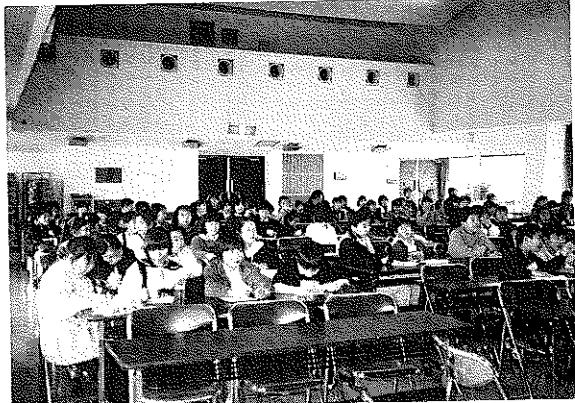
一方、反対意見を少し述べますと、

- ①、土地の有効利用の為埋め立てもやむをえない。
- ②、文化財は、観光客の人にはいいかもしれないが長崎の人には、交通混雑の原因になり、あまり多くあってもしょうがない。
- ③、長崎は、企業も少ないし、田舎なので住みたくない。

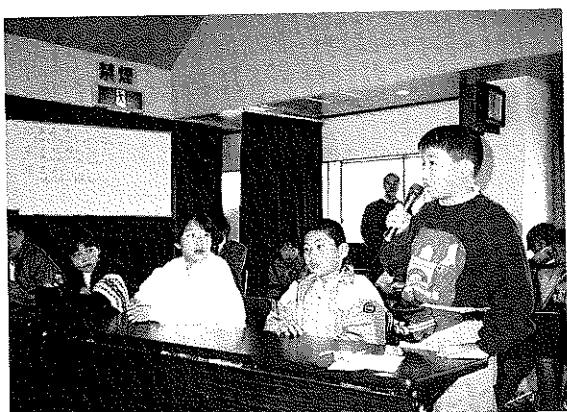
などの意見もありました。

セミナー終了後、終了証書が会長より子供達に渡され、今年1年を通して、いろんな体験をした事を、(飛帆乗船体験、おくんちセミナー、文化財清掃、もちつき大会)いい思い出として、未来の長崎の為に、がんばってもらいたいと思います。

なお、今回の討論会は、あらかじめ与えられたテーマに、賛成意見、反対意見のグループに分れて、制限時間内に、意見をまとめ発表するという形式をとりましたが、大人でも気が付かない様な、鋭い意見が出てきて、たいへん驚きました。



子供とは思えないシビアな意見がとびかう。



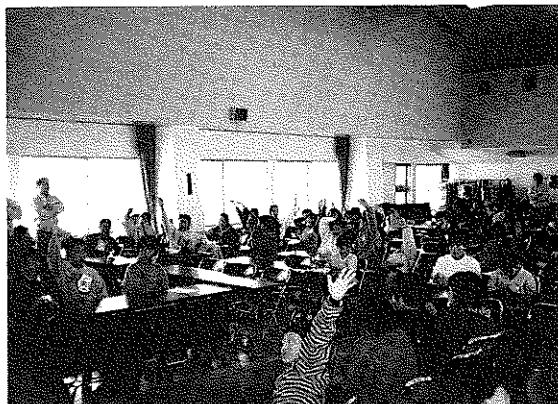
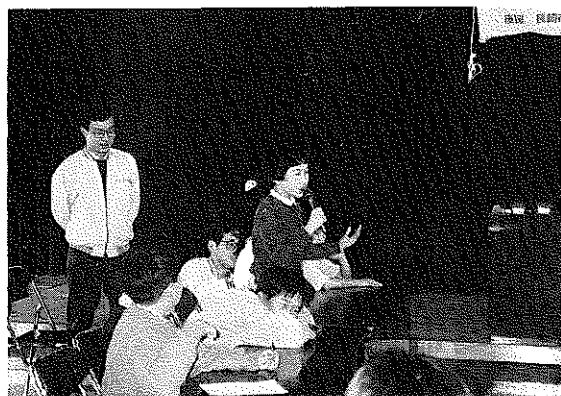
作戦タイム

## 長崎市教育委員会教育課

## 吉富参事の挨拶

私の知っている男の子で、長崎が大好きになった子がいます。彼は、お母さんにお弁当を作つてもらい、近所の5年生の友達といっしょに、中島川の石橋群巡りを、お父さんに借りたカメラで撮りながら歩いていったんです。小さな事でしたがこの事がきっかけとなり、彼は長崎が大好きになったのでした。

君達は、この1年間で、飛帆（フェイファン）乗船体験、おくんちセミナー、文化財清掃、もつつき大会、といった、他の人には味わえない、とてもすばらしい体験をしたのですから、この体験を活かして、これからもがんばって下さい。



賛成・反対意見に分れて、熱い意見がぶつかり合う



終了証書授与

# ゴルフ同好会

## 太田先輩 優勝!!

幹事：田川俊幸  
松尾浩

第4回、劉会長杯コンペを1月23日(木)に、長崎空港カントリー倶楽部にて開催致しました。大村湾の入り江が織り成す難コースを果敢に攻め込み、海の藻くずと消えて行く現会員を尻目に、最終まで自分のゴルフが出来た太田勝良先輩が、見事優勝され、その他上位をOB諸氏に独占されました。そこで次回は、現会員のみ、再特訓の意味で、2月20日(木)8時スタートで、滑石ゴルフ場を予定しています。我こそはと思う現会員の皆様参加をお待ちしています。

### '92新春クロスワード・パズルの解答



### '92新春クロスワード・パズル

#### 当選者発表!

★地域社会委員会 張仁春君  
★企画委員会 山下正君  
★事務局 金城千鶴君

以上3名の方に長崎の夜景シリーズテレビ  
フォン・カードをプレゼント。  
キーワードはサルドンでした。

### 歴史研究会だより 洋書解禁

今年は、うるう年である。今では誰も疑わざ  
カレンダー通りに年間の予定を立てている事と  
思う。しかし、8代将軍徳川吉宗は長崎の天文  
学者である西川如見に暦学の質問をしている。  
暦について疑問があったのだろう。更に、オランダ商館長の江戸参府によって刺激を受け、西  
洋の知識吸収の為、たとえ宣教師が書いた物で  
も輸入を許可して、蘭学を奨励した。これによ  
って長崎の学者や門弟達は思う存分学ぶ事がで  
きた。先頃伺った唐寺研究会の席上、黄檗研究  
家の宮田安先生が、「世の中の進歩の度合いが  
早くて時間がないのかも知れないが、それでも  
今の若者は食事を忘れる位に本を読みなさい。  
アメリカでは図書館を24時間利用できる大学が

ある。」と話された。先月来日したブッシュ米  
大統領の演説の中でも「アメリカの大統領は、  
辞任したら図書館を建てる事を考える。」とあ  
り、アメリカを表わす実にいいセリフと思う。  
欧米の図書館が持つ機能と、それを利用する市  
民の関係が作り上げた現象と考えるからである  
禁制の解かれた今、学ぶ事に喜びを感じる人が  
一体どれだけいるだろうか、氾濫ともいえる情  
報社会の中で本を選ぶのも能力が必要である。  
人は情報を求めながら生活している。そのニ  
ーズによってアメリカの図書館は発展した。禁を  
破ってまで読んでいた過去があるこの長崎で学  
ぶ事は他より多いはず。アクビしながら読んで  
いては解禁の有り難みは判らない。(大塚)